

動物飼養管理学－2

学科		シラバス(概要)	
コース			
履修条件	自律学習修了し理解度確認「振り返り」課題提出した者		
ユニット	高位平準動物看護概論	動物看護師の看護対象に含まれる実験動物・産業動物・野生動物・展示動物について知識を深め、専門職として活躍できる知識の基礎を身につける。各分野で、伴侶動物とは異なる生理・生態・行動・習性・疾病・関係法令・飼育管理方法などを学ぶ。それぞれの動物に対し、伴侶動物とは異なる愛護精神が必要となることを知る。認定動物看護師の公的資格化をめざすためには、ペット動物だけではなく広く国民の健康や食の安全に寄与できる職域を確保するための能力が必要となる。その入門として、産業動物など日ごろ接することが少ない動物の基礎知識について学ぶ。	
科目名	飼養管理学－2		
単位			
履修時間	15時間中の3時間		
回数	10回中の1回		
授業形態	対面授業		評価方法
作成者			
教科書	動物看護コアテキスト4、動物の行動と健康管理(ファームプレス社)	本講座3時間目に対面学習確認テストを実施する。また、10回目授業時に最終確認テスト(8教科分:五択問題)を受け、60%以上正答の受講者には修了証が発行される。	
参考図書			

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	産業動物	1.シラバスとの関係	主な産業動物の種類と家畜としての歴史、役割について学ぶ	
		2.コマ主題	産業動物として用いられる動物種を知り、伴侶動物との違いを確認する。	
		3.コマ主題細目	動物看護師が就業することが多い伴侶動物医療世界ではなく、食となるための動物である産業動物について総論を理解する。	
		4.コマ主題細目深度	公衆衛生分野にも動物看護師が活躍する場が増えることを予想し、家畜分野で必要な伝染病予防について知識を持ち、人の安全な食に貢献できる動物看護師を目指せる知識を持つ。	
		5.次コマとの関係	野生動物について総論を学ぶ。	
2	野生動物	1.シラバスとの関係	生態系における野生動物の位置づけと、現状について理解する。	
		2.コマ主題	日本の野生動物を知り、現状を学ぶ。	
		3.コマ主題細目	野生動物とは、自然の多い環境に生息するものばかりではなく、都会でも存在している。生態系の構成員として暮らしている野生動物を知る。	
		4.コマ主題細目深度	野生動物と環境保全はセットであり、希少動物の保護も考える。外来生物の存在は、人が意図的に持ち込んだり、人の活動と共に入り込んだものもあることを知る。世界遺産の地知床に観られる野生動物を紹介する。世界の取り決めとして、ラムサール条約などを知る。	
		5.次コマとの関係		
3	実験動物・まとめ	1.シラバスとの関係	実験動物の社会的役割と目的、管理について理解し、動物福祉の観点からヒトと動物の共生に寄与する。	
		2.コマ主題	現在施行されている実験動物関係法規を知り、飼育管理に活かす。	
		3.コマ主題細目	関係法規、実験動物福祉、適正な実験動物の作出方法と理論	
		4.コマ主題細目深度	実験動物関係法規と動物福祉について、科学的に適正な実験動物の定義と作出方法(遺伝的統御と微生物学的統御)を知る。3Rについて説明できるようになる。	
		5.まとめと対面授業確認テストの実施・アンケート記入		